保証書

保証期間1年間

品　　名	ドサトロン　DR-8GL
商品番号	
お買い上げ日	＊　平成　　年　　月　　日

お客様	お名前 ご住所 TEL	販売店	店名 住所 TEL

本書はお買い上げの日から1年間正常な状態でご使用され、故障した場合無料修理をお約束いたします。

株式会社　サンホープ
東京都目黒区中目黒1-1-71

1.保証期間内でも次の様な場合は有料修理になりますのでご注意ください。
　a.120#以上のフィルターが設置されていない場合
　b.使用上の誤り、又は改造や不当な修理による故障・破損
　c.お買い上げ後の落下、輸送などによる故障・破損
　d.凍結、火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、自然災害や公害などによる故障・破損
　e本書の提示がない場合
　f.消耗部品（フィルターエレメントやOリング等）
2.この商品は持ち込み修理に限らせて頂きます。
3.本書の再発行は致しませんので大切に保管して下さい。
4.本書は日本国内のみ有効です。
5.飼育生体（動植物）につきましては保証の限りではありませんのでご了承下さい。

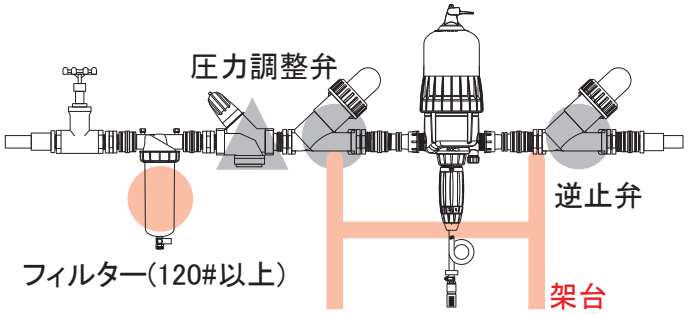
水と環境をコーディネートする企業
株式会社 サンホープ

本社　〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-1-71　TEL 03-3710-5675
KN代官山4F　FAX 03-3791-7119
東京　〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-1-71　TEL 03-3710-5660
KN代官山4F　FAX 03-3710-4997
宮崎　〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町1309-1　TEL 0986-25-1280　FAX 0986-25-9100

v0903□

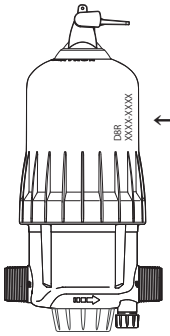
⚠注意

※フィルター（120#以上）を必ず付けて下さい。
ない場合には保証の対象外となります。



※流量が多い場合には圧力調整弁を設置して下さい。
※薬液が水源に逆流しないように逆止弁は必ず設置して下さい。

⚠シリアルナンバー



←シリアルナンバー
修理や部品交換等、各種サポートをご利用の際にに必要になりますので必ずお控え下さい。
シリアルナンバーが無い場合には部品の出荷ができなくなる場合がございます。

サンホープ

流量比例式混入器（ドサトロン）DR-8GL 取扱い説明書／保証書

この度は、お買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
正しくご使用していただくため、必ず説明書／保証書は最初にお読みください。
また、末長くご愛用いただくため、この説明書／保証書は大切に保管して下さい。

電源不要

40
取付口径40mm

133
最大流量L/分

水と環境をコーディネートする企業
株式会社 サンホープ

組み立て方

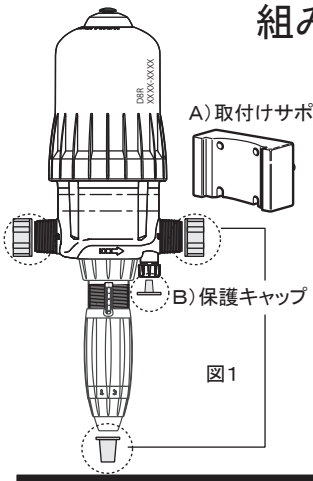


図1

サポートの取付け
サポート(図1-A)は混入器をキャリーや壁等に取付けるためのものです。
本体にある2つのレールをサポートの溝にはめ込み取付けます。
混入器には内部にゴミなどが入りこまないように保護キャップ（図1-B）がついています。配管を行う前に、必ず保護キャップを外して下さい。

⚠注意

取付けには絶対に工具を使用しないで下さい。
散水ラインの通水方向と混入器本体矢印が同じ方向であるか確認して下さい。同じ方向でない場合には通水されません。
混入器の接続部には保護キャップが付いています。使用する前に必ず取り外してから使用してください。
混入器を設置する場合には必ず120メッシュ以上のスクリーン又はディスクフィルターをご使用下さい。

DR-8GL性能表

希釈率	0.2%(1/500)～2.0%(1/50)
注入量	0.017L/分～2.67L/分
作動流量	8.3L/分～133L/分
作動圧力	0.02MPa～0.8MPa(0.2kgf/cm²～8kgf/cm²)水温40℃以下の時
圧力損失(最大流量時)	0.12MPa(1.2kgf/cm²)
接続口径	11/2インチオスネジ
重量	3.3kg
付属品	取付けサポート、吸入チューブ、ストレーナー・重り・ホースバンド・11/2インチユニオンソケット2個付

⚠使用上の注意（オーバーフローについて）

ドサトロンを使用する場合は配管内に一度通水し、配管内を満水状態にしてからご使用下さい。また通水バルブをゆっくり開けて下さい。急速に水を流しますとオーバーフローとなり本体内の**エンジン部分**が破損する恐れがあります。（1分間のクリック数156回(78ストローク)を超えた場合はオーバーフローとなります。DR-8GLの最大流量は133L/分ですこの流量を超えないように、安全のため圧力調整弁や定流量弁をDR-8GLの前に取り付けることをお勧めいたします。

一般的な配管口径流量
内径25mmの配管　62.5L/分：0.2MPa(一般的な散水配管)
内径30mmの配管　90　L/分：0.2MPa
内径40mmの配管160　L/分：0.2MPa

⚠使用上の注意（凍結について）

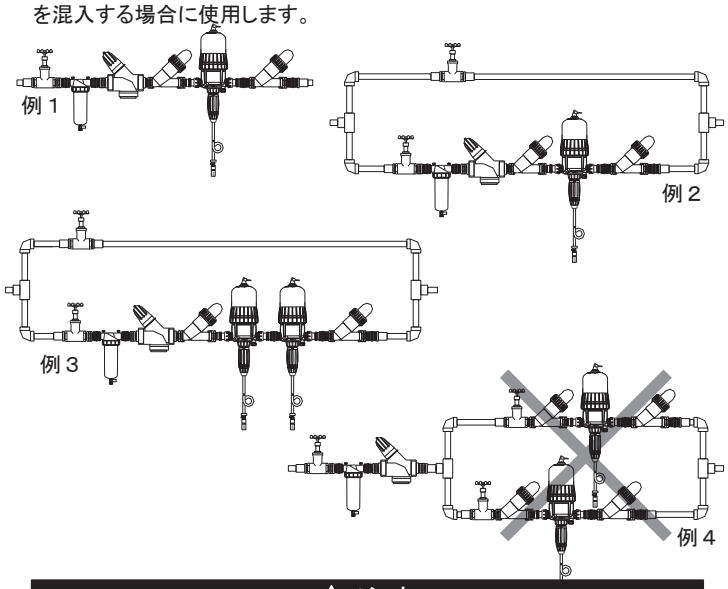
冬季に凍結の恐れがある時には本体内の水を必ず抜いて下さい。
本体内の水が凍結し、ドサトロンを破損させる場合があります。

⚠盗難に注意して下さい。

屋外に設置した場合には盗難にあう場合がありますので注意して下さい。

設置例

混入器の設置
混入器は本管に対し直接（例1）またはバイパス（例2）下に取付けます。特殊な例として連結する（例3）場合もありますが、この場合は2種類の液肥を混入する場合に使用します。

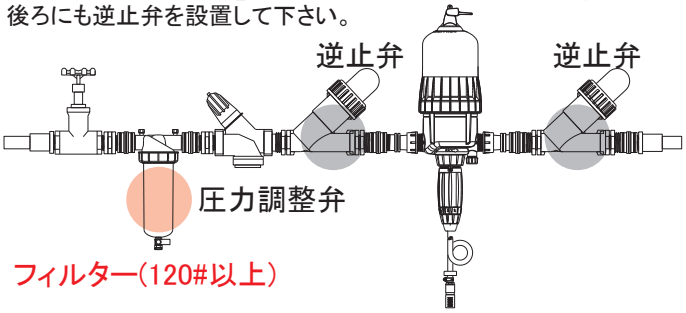


⚠注意

バイパス配管した時は必ず例2・3の様に逆止弁を混入器の**前側**に付けて下さい。**薬液が一次側に逆流する事を防ぎます**。混入器を使用中に**1分間に156回以上**「カチカチ」とクリック音がする場合最大流量を超えている可能性があります。直ちに混入器を止め、配管をチェックしてください。もし流量オーバーしているようならば、バルブを絞るなどして流量を少なくして下さい。
又例4のような取付は絶対にしないで下さい。上下でそれぞれのドサトロンへの通水量が異なり混入量が一定しません。
例3のように直列で使用する場合は、1年ごとに①と②の混入器を入替えると安定して長くお使い頂けます。

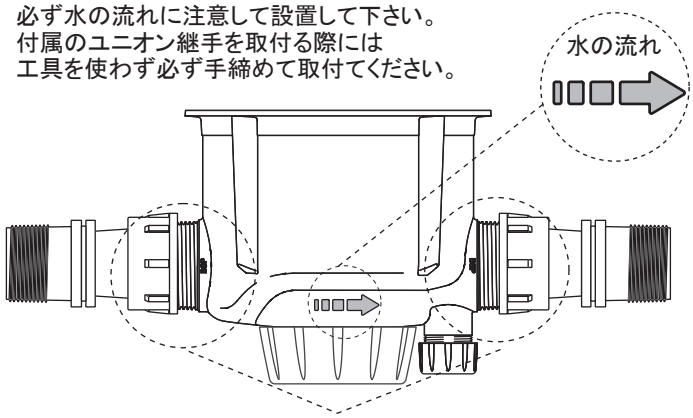
⚠逆止弁について

薬液が水源に戻らないように、必ず混入器の前に逆止弁を設置して下さい。またドサトロンをウォーターハンマーから守るため、混入器の後ろにも逆止弁を設置して下さい。



⚠設置する時の注意

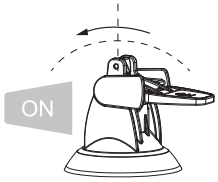
必ず水の流れに注意して設置して下さい。
付属のユニオン継手を取付る際には
工具を使わず必ず手締めて取付てください。



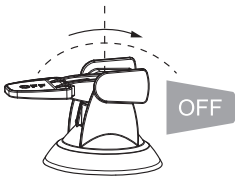
最大締付トルク30N・m(3kg・m)

バイパスレバー

サンホープのDR-8GLはバイパスレバーが標準装備されています。



ONで薬液を注入します。



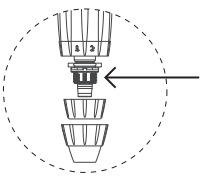
OFFでは水だけを流します。
（薬液は吸い上げません）

⚠注意

メンテナンス

お使いの混入器をより長くお使い頂くために
定期的にメンテナンスを行って下さい。

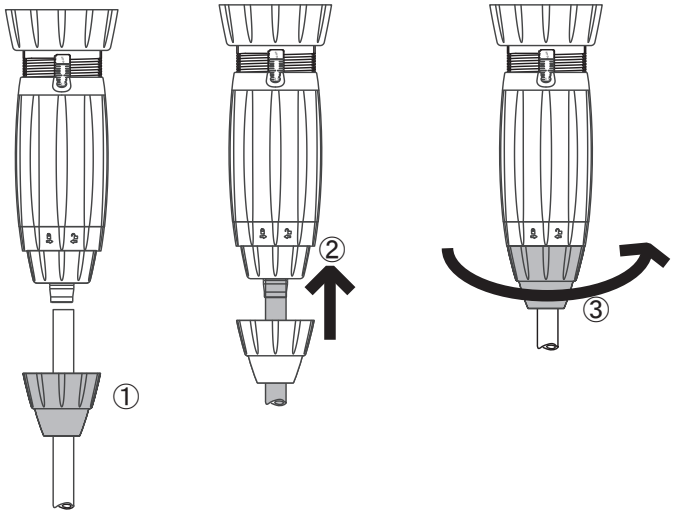
メンテナンスには以下の内容があります。
●エンジンの洗浄　　●Oリングの洗浄
●逆止弁の清掃
●各Oリングのグリースアップ
（グリースアップには食品機械用耐水グリースをお使い下さい。）



メンテナンスは使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1度ぐらい行って下さい。
メンテナンスを行うには分解が必要です。別紙、分解の仕方をご参照下さい。

吸入チューブの取付け

①.混入器の底にある円錐状のナットを外します。
②.チューブを取付け口に、チューブが進むまで押し込みます。
③.手でナットを締めこんで下さい。

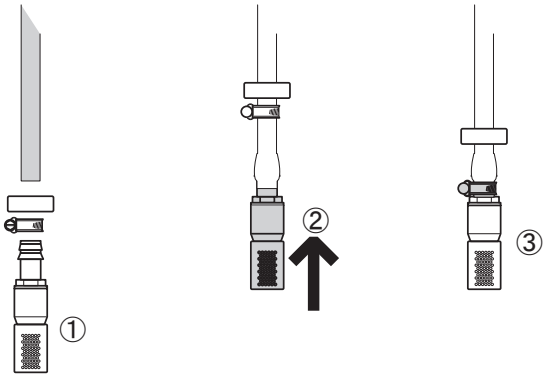


⚠注意

締め付けなどを行う時は、工具等を使用しないで下さい。
部品や洗浄を行う場合は、混入器に給水しながらの作業は行わないで下さい。
注入部の部品の交換や洗浄を行う場合は、その作業を行う前に必ず
混入器を作動させ清水を良く通してから、作業を行って下さい。
こうするとこにより、濃縮薬液に触れる危険性が軽減されます。
また洗浄や部品の交換などの作業を行う場合、薬液に触れないよう
に気をつけてください。

ストレーナーの取付け

①. 吸入チューブ・重り・ホースバンド・ストレーナーを用意します
②. 吸入チューブ・重り・ホースバンド・ストレーナーの順に入れます。
③. ホースバンドのナット締めこんで下さい。

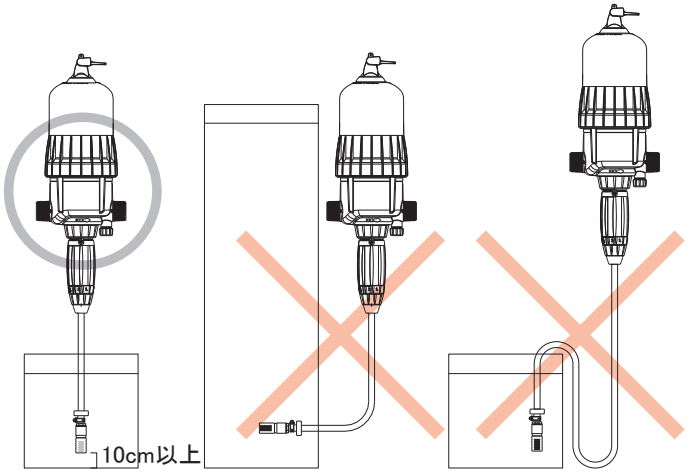


⚠注意

締め付けなどを行う時は、工具等を使用しないで下さい。
部品や洗浄を行う場合は、混入器に給水しながらの作業は行わないで下さい。
注入部の部品の交換や洗浄を行う場合は、その作業を行う前に必ず
混入器を作動させ清水を良く通してから、作業を行って下さい。
こうするとこにより、濃縮薬液に触れる危険性が軽減されます。
また洗浄や部品の交換などの作業を行う場合、薬液に触れないよう
に気をつけてください。

チューブの設置方法

混入器には大容量の原液タンクにも使用できるように1.8mの長い吸入チューブがついています。吸入チューブにはゴミ等の吸い上げ防止のため付属のストレーナーを必ず付けて下さい。チューブにストレーナーを取付けたら希釈する原液にチューブを浸けて下さい。



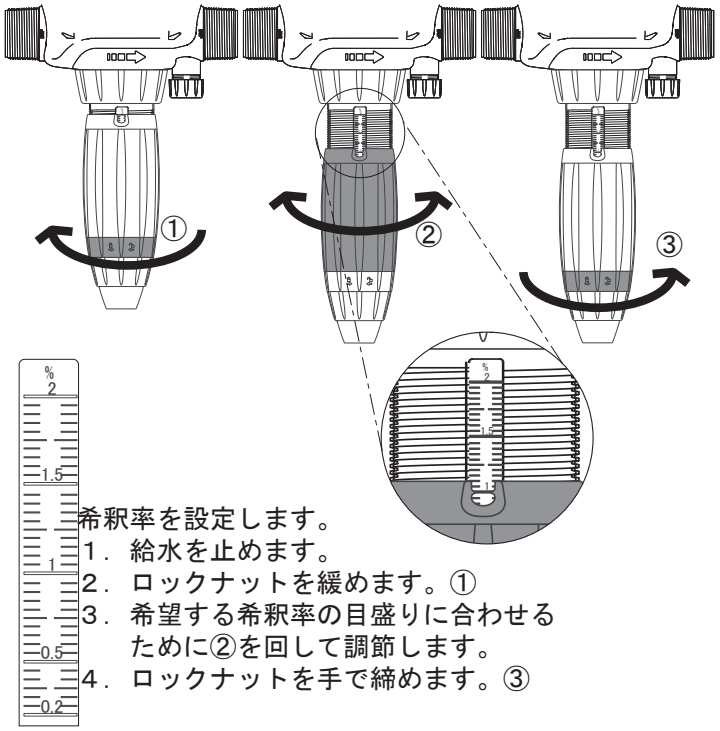
上記のような設置はしないで下さい。

⚠注意

吸入チューブを取付ける際には吸入チューブがタンク底面に対し垂直（図３）になるようにして下さい。また溶けずに残っている肥料微粒子を混入器が吸い込まないようにストレーナーはタンクの底から10cm以上離して下さい。またストレーナーは地面等に直接置かないようにして下さい。混入器がタンクの水位より下になるような設置はしないで下さい。
混入器が正しく作動しない場合があります。
注）薬品などの酸性の薬液を吸入させる場合は、タンクの真上に混入器を設置しない方が良い場合がありますのでご相談下さい。

メモ

希釈倍率の設定



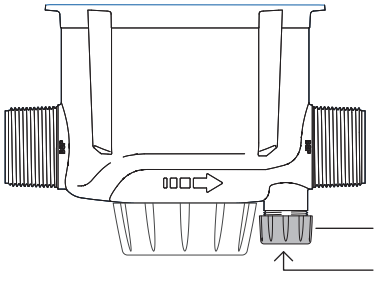
希釈率を設定します。
1．給水を止めます。
2．ロックナットを緩めます。①
3．希望する希釈率の目盛りに合わせるために②を回して調節します。
4．ロックナットを手で締めます。③

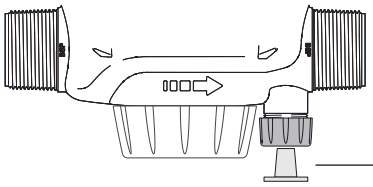
⚠注意

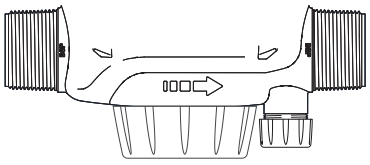
混入器の目盛りを合わせる時は、工具等を使用しないで下さい。希釈率を設定するときは給水を止め、混入器に圧力がかかっていない状態で行って下さい。混入器が作動するまでの時間は、流量・希釈倍率などによって若干異なります。希釈倍率を上げると吸入量は少なくなり、希釈倍率を下げると吸入量は多くなります。

真空解除弁を作動させる

DR-8GLには真空解除弁が付いています。真空解除弁は突然真空状態になった場合でも混入器内の圧力を自動的に正常な状態に戻します。
真空解除弁を作動させるためには真空解除弁保護キャップを外します。







メモ